※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「MOUSA2」（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野について幅広く学習します。
・学習の到達度は、授業でのワークシートや作品・実技テストで評価します。
・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

⑴ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景など　の関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
⑵ 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
⑶ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	表情豊かに歌おう	【歌唱】 ・校歌 ・糸 ・ハナミズキ 浜辺の歌	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能・他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:親しみやすい歌や効果のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:独唱や二重唱など音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表の観察	ワークシート	観察 ワークシート
	ギターで弾き語ろう	【器楽】 ・様々なギターとその音色について ・ギターの奏法について ・弾き語りについて ・課題曲の演奏	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】ギターの奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:旋律やテクスチュア、ギターの演奏や弾き語りに関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、ギターの奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に弾き語りで表現する学習活動に取り組もうとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

前期	能の世界を味わおう！	【鑑賞】 能「敦盛」	a:①能「敦盛」の特徴と背景となる歴史や「平曲」との関わりについて理解している。 ②謡の曲想と音楽の構造との関りについて理解している。 b:謡の声の音色・リズム・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、能の音楽や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:能の音楽とその背景との関わり、物語や謡に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
後期	和楽器に親しみ演奏に挑戦しよう！	【器楽】三線 ・海の声 ・安里屋ユンタ	a:【知】三線の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で三線を演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:三線の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 c:三線の音色や特徴、日本らしい音楽を演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表の観察	ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	コード進行を生かして、まとまりのある音楽をつくろう	【創作】 ・コード進行を生かして 思い出の音楽をつくる	a:【知】旋律や言葉の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 b:音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 c:コード進行を生かしてまとまりのある旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート	ワークシート 観察
	外国歌曲を味わおう	【歌唱】 ・「 Caro mio ben」	a: 【知】「Caro mio ben」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音の技能を身に付け、歌唱で表している。 b:「Caro mio ben」の音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、「Caro mio ben」をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 c:「Caro mio ben」の歌詞が表す情景や心情および曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表の観察	ワークシート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度